

株式会社ニッカトー 2019年3月期決算説明資料

目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2019年3月期業績概要
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2019年3月期業績概要
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

中長期的な経営戦略について

当社は得意とする特定分野のセラミックス
製品並びに計測機器と加熱装置のリーディ
ングカンパニーを目指しております。

中期経営計画における重点施策について

- ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理道具材の生産能力の増強
- 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進
- マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販
- 働き方改革の実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進
- 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備

目次

1. 中長期的な戦略について
- 2. 2019年3月期業績概要**
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

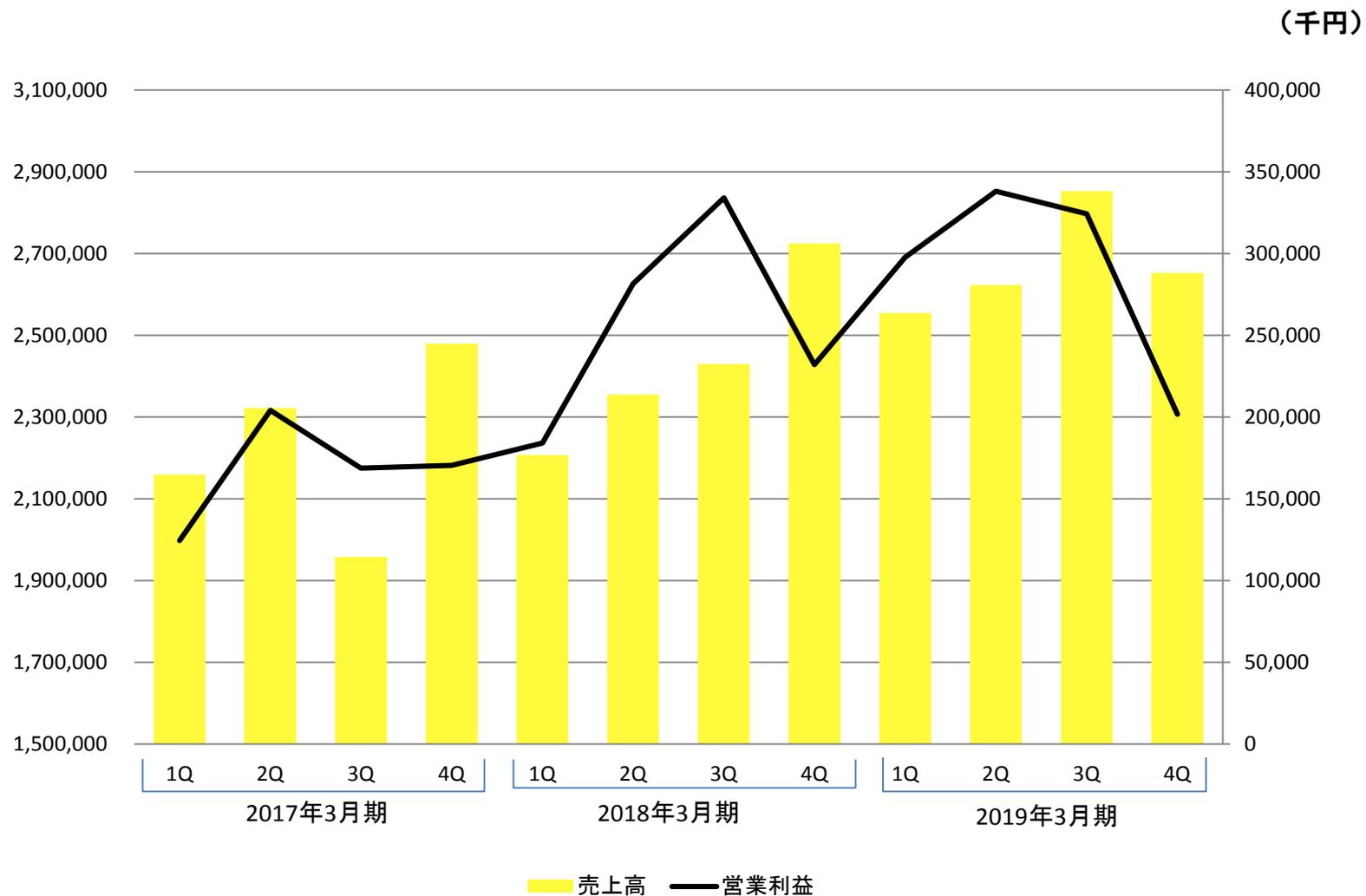
経営成績の概要

(単位：千円)

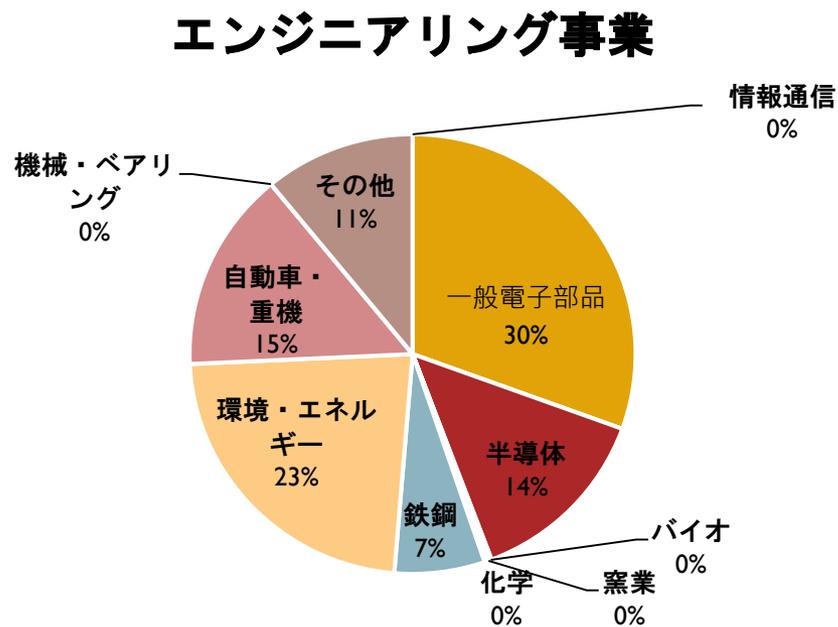
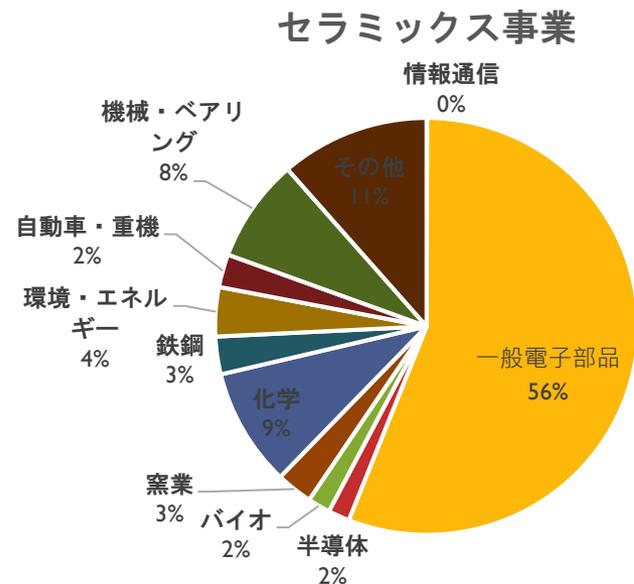
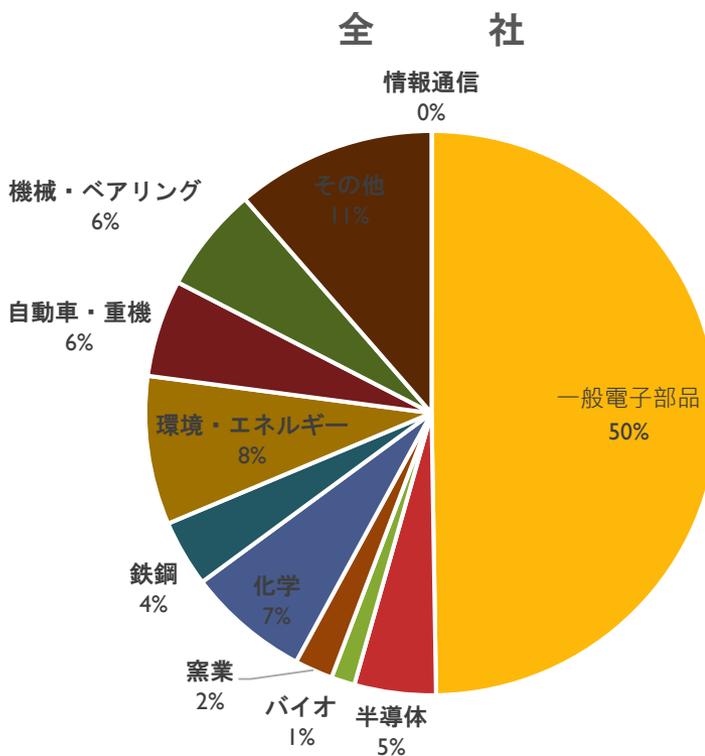
	2018年3月期		2019年3月期		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	9,716,607		10,682,834		966,226	9.9%	10,500,000	101.7%
売上原価	7,305,078	75.2%	8,085,921	75.7%	780,842	10.7%	7,790,000	103.8%
販売費及び一般管理費	1,380,014	14.2%	1,435,117	13.4%	55,102	4.0%	1,560,000	92.0%
営業利益	1,031,514	10.6%	1,161,795	10.9%	130,281	12.6%	1,150,000	101.0%
経常利益	1,074,881	11.1%	1,228,320	11.5%	153,439	14.3%	1,170,000	105.0%
当期純利益	751,964	7.7%	791,491	7.4%	39,526	5.3%	760,000	104.1%

研究開発費	216,825	2.2%	212,846	2.0%	-3,979	-1.8%	-	-
EPS(円)	63.00	-	66.31	-	3.31	-	-	-
ROA (%)	5.3	-	5.3	-	0.0	-	-	-
ROE (%)	7.4	-	7.4	-	0.0	-	-	-

売上高・営業利益推移（四半期毎）



マーケット別構成比

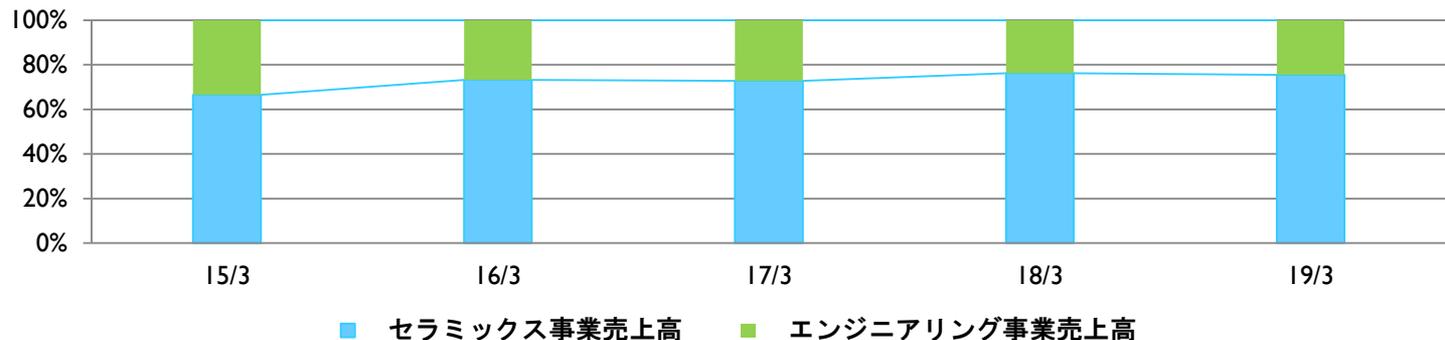


セグメント別業績

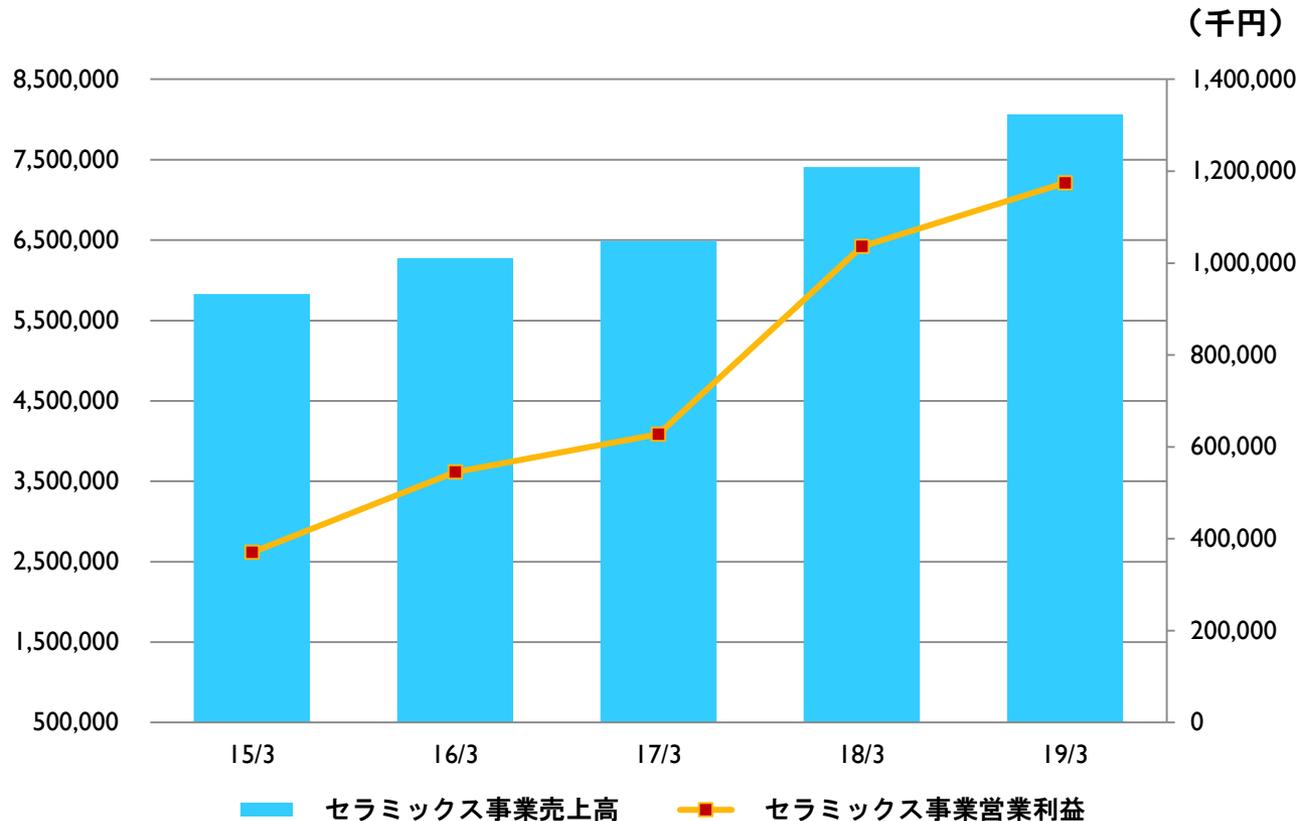
(千円)

	2018年3月期		2019年3月期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	9,716,607	-	10,682,834	-	9.9%
セラミックス事業					
機能性セラミックス	399,078	4.1%	473,013	4.4%	18.5%
耐摩耗セラミックス	4,829,426	49.7%	5,216,581	48.9%	8.0%
耐熱セラミックス	1,966,427	20.2%	2,157,550	20.2%	9.7%
理化学用陶磁器他	213,623	2.2%	214,639	2.0%	0.5%
合 計	7,408,555	76.2%	8,061,784	75.5%	8.8%
エンジニアリング事業					
加熱装置	699,620	7.2%	807,934	7.5%	15.5%
計測機器・同システム	1,608,431	16.6%	1,813,115	17.0%	12.7%
合 計	2,308,052	23.8%	2,621,049	24.5%	13.6%
営業利益	1,031,514	-	1,161,795	-	-
セラミックス事業	1,035,993	-	1,174,654	-	-
エンジニアリング事業	△4,478	-	△12,858	-	-

売上構成比の推移

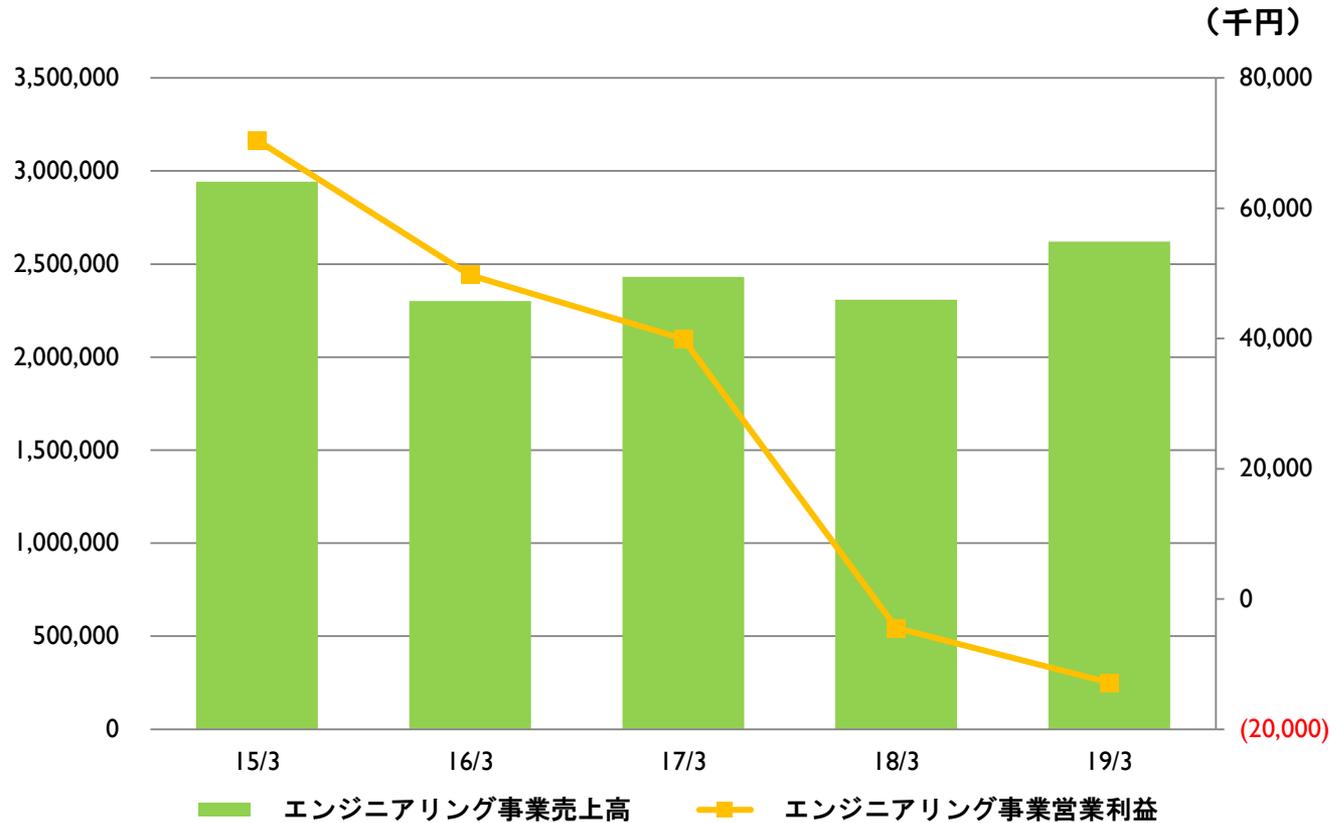


セラミックス事業



- ・ Y T Z ボール及び構造部材の耐摩耗セラミックスは好調に推移。
- ・ 熱処理道具材・アルミナ管類も増加傾向。
- ・ Y T Z ボール新棟建設は、計画通り実施予定。

エンジニアリング事業



- ・ 厳しい競争・小口案件増加により、利益率確保に苦慮。
- ・ 組織体制を見直し建直しを図る。

貸借対照表

(千円)

	18/3末	19/3末	増減率
流動資産	8,699,199	9,135,719	5.0%
現金預金	2,802,684	2,627,237	△ 6.3%
売掛債権	3,621,910	3,749,013	3.5%
棚卸資産	2,143,647	2,625,438	22.5%
その他	130,957	134,029	2.3%
固定資産	5,940,770	5,945,241	0.1%
有形固定資産	3,557,002	3,846,332	8.1%
無形固定資産	53,241	56,469	6.1%
投資その他	2,330,526	2,042,439	△ 12.4%
資産合計	14,639,969	15,080,961	3.0%

・流動資産

現金預金 棚卸資産の増加に伴い現金預金は減少

・固定資産

投資その他 株価下落に伴う投資有価証券の評価減に伴い減少

	18/3末	19/3末	増減率
流動負債	3,628,936	3,824,618	5.4%
買掛債務	2,000,603	1,958,648	△ 2.1%
短期借入金	517,352	450,696	△ 12.9%
その他	1,110,981	1,415,273	27.4%
固定負債	441,432	367,406	△ 16.8%
長期借入金	57,196	6,500	△ 88.6%
その他	384,236	360,906	△ 6.1%
純資産	10,569,600	10,888,936	3.0%
株主資本	9,940,061	10,456,484	5.2%
評価・差額等	629,539	432,451	△ 31.3%
負債・純資産合計	14,639,969	15,080,961	3.0%

・流動負債

その他 設備投資に伴う営業外電子記録債務の増加に伴い増加

・固定負債

その他 繰延税金負債の減少に伴い減少

・純資産

評価・差額等 株価下落による評価差額金の減少により減少

キャッシュフロー計算書

(千円)

	18/3末	19/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	959,195	738,202	△ 220,992
税引前当期純利益	1,071,687	1,116,004	44,317
減価償却費	540,032	564,742	24,710
棚卸資産の増減額	△ 328,216	△ 481,790	△ 153,574
その他	△ 324,308	△ 460,754	△ 136,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 775,269	△ 501,175	274,093
有形固定資産の取得	△ 865,352	△ 625,633	239,718
その他	90,083	124,457	34,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 273,286	△ 392,473	△ 119,187
配当金の支払額	△ 191,033	△ 274,019	△ 82,985
その他	△ 82,252	△ 118,454	△ 36,202
現金等の増減額	△ 89,360	△ 155,446	△ 66,086
現金等の期末残高	2,782,684	2,627,237	△155,446

- ・ 営業CF
棚卸資産の増減額
在庫の増加
- ・ 投資CF
有形固定資産の取得
セラミックス事業設備投資
- ・ 財務CF
配当金の支払額
配当額16円→23円
- その他
借入金の返済による減少

目次

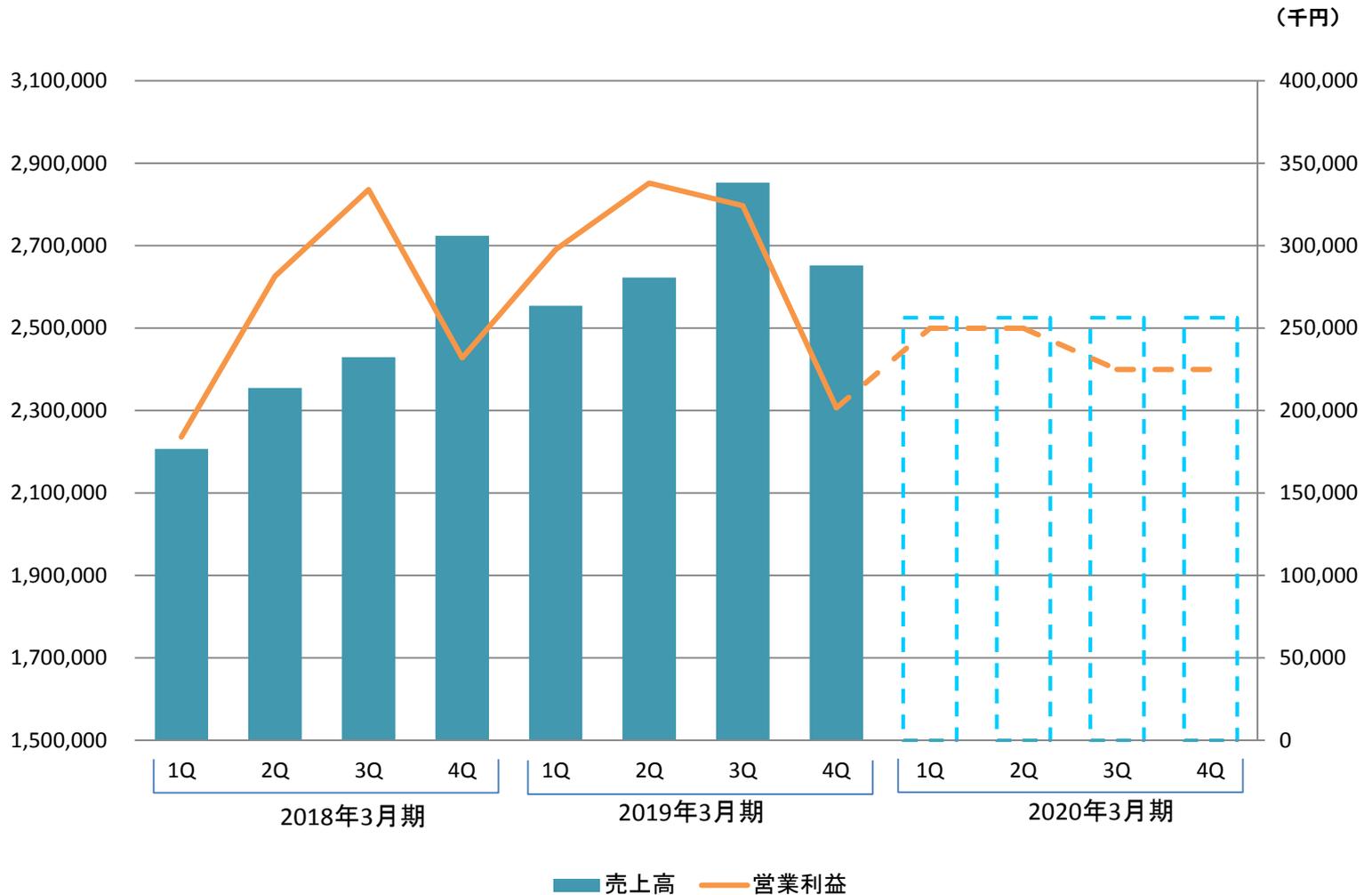
1. 中長期的な戦略について
2. 2019年3月期業績概要
- 3. 2020年3月期業績予想**
4. 事業トピックス

2020年3月期業績予想 (I)

(千円)

	2019年3月期(実績)		2020年3月期 (予測)		実績比	2019年9月(予測)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減率	金額	売上比
売上高	10,682,834		10,100,000		-5.5%	5,050,000	
売上原価	8,085,921	75.7%	7,700,000	76.2%	-4.8%	3,850,000	76.2%
販売費及び一般管理費	1,435,117	13.4%	1,450,000	14.4%	1.0%	700,000	13.9%
営業利益	1,161,795	10.9%	950,000	9.4%	-18.2%	500,000	9.9%
経常利益	1,228,320	11.5%	980,000	9.7%	-20.2%	520,000	10.3%
当期純利益	791,491	7.4%	680,000	6.7%	-14.1%	360,000	7.1%

2019年3月期業績予想 (2)

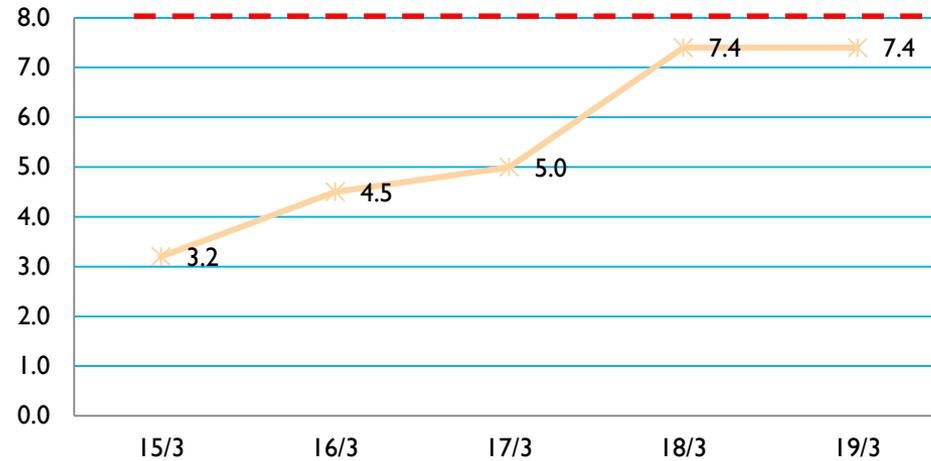


目標とする経営指標（I）

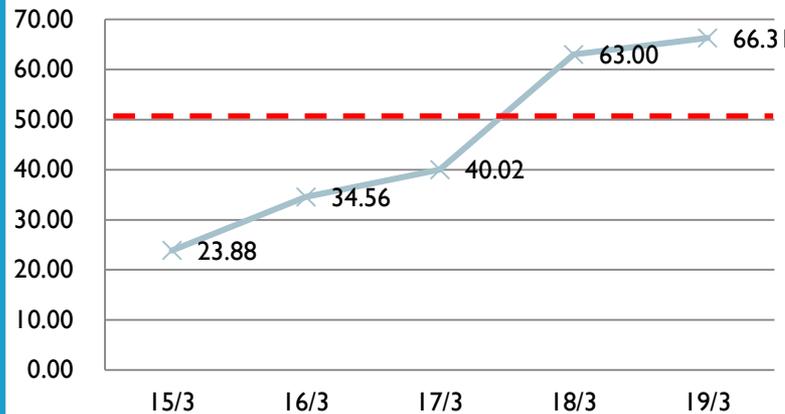
- ROE（自己資本当期純利益率）
→8%以上
- EPS（1株当たり当期純利益）
→50円以上
- 配当性向
→30%～50%

目標とする経営指標 (2)

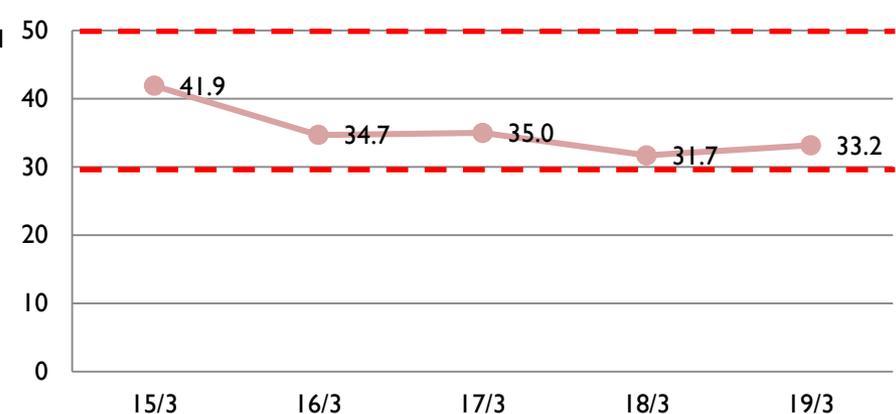
(過年度実績)
ROE (%)



EPS(円)



配当性向 (%)



目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2019年3月期業績概要
3. 2020年3月期業績予想
- 4. 事業トピックス**

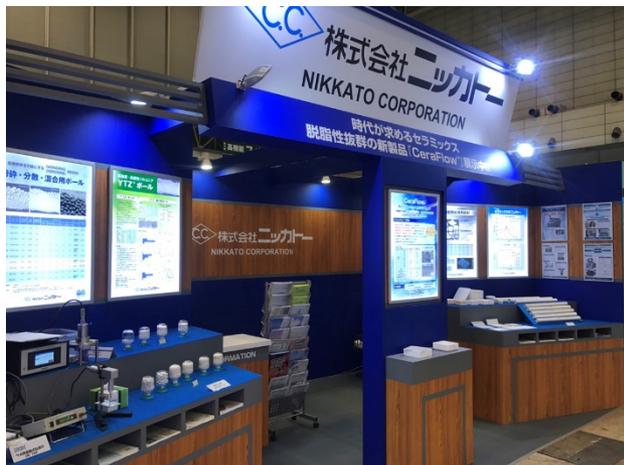
新規取扱商品について

高機能多孔質セラミックス『CeraFlow™』上市

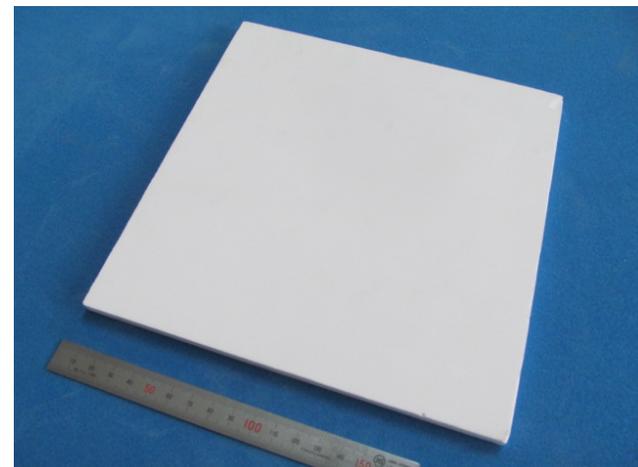
ニッカトーでは創業以来、理化学用陶磁器をはじめとした熱処理道具材を幅広く世に送り出してきました。近年ではIT関連製品の市場拡大とともに、アルミナ、ジルコニア、マグネシア等の熱処理容器・セッターの需要が高まっております。

なかでも、自動車の自動運転や安全性向上、次世代電池などのエネルギー関連分野においては、各ユーザーでの焼成技術も日々進化を続けており、使用される焼成道具材につきましても最新のユーザーニーズにマッチした商品開発が求められております。

当社におきましては、これまでに培われた優れた材料技術と、フィルター類で磨かれた孔径制御技術を生かし、昨年『CeraFlow™』を上市いたしました。その優れた材料特性から、全固体電池材料の熱処理用道具材等や、省エネ性を高めた熱処理道具材として注目されております。現在、従来品と共に今後の需要増加に備えた設備投資を進めており、熱処理道具材全体の売上高は、2022年度までに2017年度比1.5倍の伸び率を見込んでおります。



【高機能セラミックス展（東京ビッグサイト）】



【CeraFlow™ 外観】

（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。